

2019年4月1日

株式会社秋田ケーブルテレビ
株式会社秋田魁新報社
株式会社秋田銀行

株式会社^{オール}ALL-^{エー}Aの設立について

株式会社秋田ケーブルテレビ（代表取締役 松浦隆一）、株式会社秋田魁新報社（代表取締役 佐川博之）および株式会社秋田銀行（頭取 新谷明弘）は、民間事業者と高齢者の方々によって新たな価値を共創する「リビングラボ」^(注)の運営会社として、「株式会社ALL-^{エー}A」を設立したことからお知らせいたします。

記

1 趣旨

- (1) 株式会社ALL-^{エー}Aは、地域の最重要課題に位置付けられる高齢化への対応として、民間事業者が有するプロダクト・サービスのシーズと高齢者の方々の経験や知識にもとづく多様なニーズとのマッチングによる価値共創の取組みとして、リビングラボプロジェクトを推進いたします。
- (2) プロジェクト名称
「Age friendly Living Lab AKITA」(通称：ALL-^{エー}A)
- (3) リビングラボプロジェクトを通じて、高齢社会における課題解決を目指す民間事業者によるイノベーションを支援するほか、高齢者の方々の社会参加の継続および生涯活躍の機会を創出することで、エイジフレンドリーシティ^(注)の実現を目指してまいります。

2 新会社の概要

商号	株式会社ALL- ^{エー} A
代表者	代表取締役 末廣健二
本社所在地	秋田市八橋南一丁目1番3号
資本金	10百万円
資本構成	秋田ケーブルテレビ 65% 秋田魁新報社 30% 秋田銀行 5%
設立日	2019年4月1日
主な事業内容	○イノベーション支援環境の企画・運営 ○イノベーション支援に関するコンサルティングサービス ○高齢者就労に関する調査・研究 ○各種教室・講座・ワークショップ等の企画・運営

(注) 1 リビングラボ
事業者のプロダクト・サービス開発のプロセスにエンドユーザーを参画させる拠点を意味する。

(注) 2 エイジフレンドリーシティ
「エイジフレンドリーシティ(高齢者に優しい都市)」は、世界的な高齢化に対応するために、世界保健機関(WHO)が提唱した市民参加型のまちづくりの概念である。秋田市は2011年から「WHOエイジフレンドリーシティグローバルネットワーク」に参加し各取組みを推進しており、参加83都市・地域の中から、先進的な取組みを行う11都市・地域として選出されている。

(以上)

(別紙)

ALL-Aの概念

- ▶ 高齢者の社会参加の仕組み・環境を提供！（エイジレス社会の実現）
- ▶ 健康寿命延伸、フレイル対策、認知症対策を支援！（コミュニティの維持）
- ▶ イノベーションによる新たな高齢社会対策！（産業振興への貢献）

(名称) エイジフレンドリー リビングラボ アキタ
Agefriendly **L**iving **L**ab **A**KITA

(通称) 『ALL-A（オール・エー）』 (ロゴ)

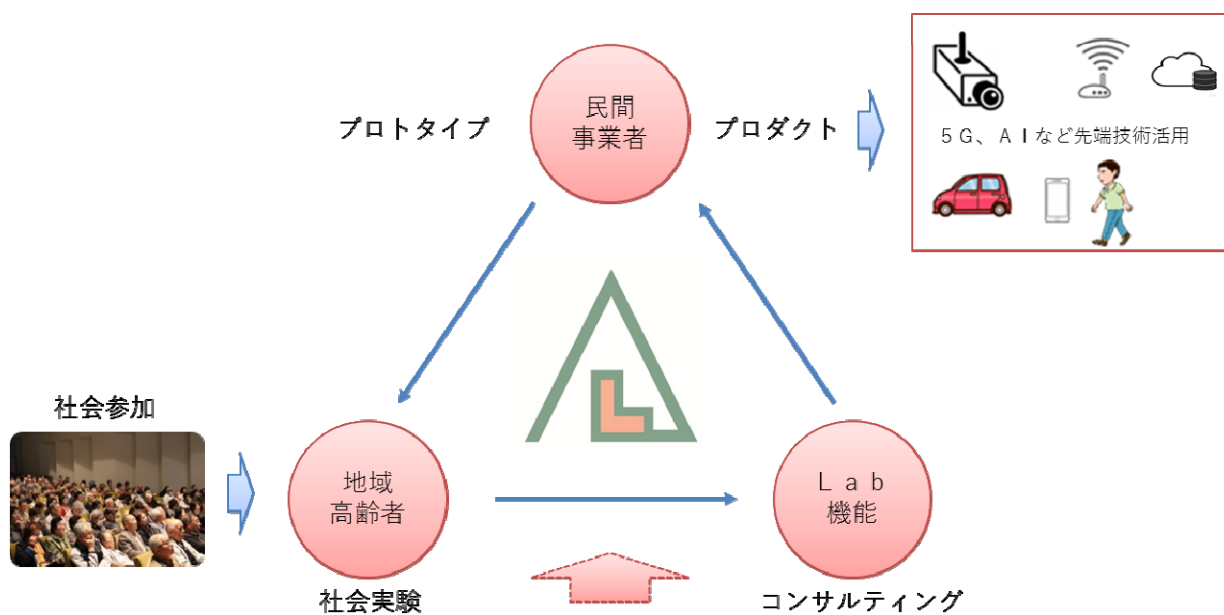


【名称について】

○秋田市が行動計画を策定して推進する「エイジフレンドリーシティ」を全面に打ち出し、秋田から持続可能な高齢社会を発信するというねらいを表現

○頭文字を取り「ALL-A」とすることで、オール秋田で高齢社会にアプローチすることを表現

ALL-Aプロジェクトイメージ



『ALL-A』ネットワーク



秋田県新報



秋田銀行

秋田市

秋田大学高齢者医療先端研究センター
東京大学高齢社会総合研究機構